優賞

ひょうたんの観察（3）

玉東町立木葉小学校　５年　吉野　綾

１　観察の動機

昨年もひょうたんの観察をしたが、子づると孫づるのどちらに多く実がつくか？分からなかったので育てる方法をかえてチャレンジした。

２　観察の場所と調べたいこと

(1) 植えた場所のちがいによる実の数を見る（・果樹畑・イモ畑・野菜畑・タマネギ畑）

(2) 子づると孫づるのどちらに多く実がつくか？。

(3) １本のひょうたんについて、つるの長さ、太さ実の数や重さ、つるの様子、花粉などについて調べる。

(4) 育て方のちがいと実の数について調べる。

３　観察の結果

２－(1) 植えた場所のちがいによる実の数と重さ

・植えた場所によって一番多く実ったのはイモ畑で160個、24ｋｇあった。自然にのばした場合だったので、実の数は多いけれども、小さいものや、やわらかいものが多かった。

・果樹畑は、３年連作したので早く病気にかかりうまく育たなかった。

・野菜畑やタマネギ畑は丈夫なひょうたんが多かった。観察期間が台風で最後までできなかった。

２－(2) 子づると孫づるなどの実の数

・ひょうたんは子づるに多く実がなると予想していたが、子づる14個に対して孫づるは101個実ったので、孫づるが多く実ることが分かつた。

２－(3) 子づる孫づるなどの長さ

・つるの長さの合計が138ｍぐらいあったので、びっくりした。小さなつるを合わせたら150ｍ以上になると思った。

２－(4) 育て方のちがい（残した葉の数）と実の数

・育て方のちがいによって多く実ったのは、イモ畑で自然に育てた場合が多かったが、実際に丈夫なひょうたんは子づるの葉を20枚残しカット、孫つる葉10枚～20枚残してつるをカットして育てたものが良いことが分かつた。９月いっぱい育てられなかったので残念だった。

４　観察してわかったこと（３年間のまとめ）

・種について（発芽）たねとりは十分に熟してから（９月末）収穫し実のままで保存して良い。種だけだと紙袋に入れて冷蔵庫で保存するとよい。

・ひょうたんは梅雨時に葉が病気で枯れるので葉の色が変わったら早めにかぎ取ったがよい。

・巻きひげはけんびきょうで観察すると曲がる外側にうぶ毛が見られる。内側にはない。

・ひょうたんの花粉は同じ仲間のカボチャの花粉とよく似ている。

５　感想

・今年は大変暑く、台風も来たので大変だった。多く実らせる方法が分かったの良かった。３年間観察を続けて自信がついた。又、顕微鏡写真をデジカメで撮れたので感動した。